
超えたい人

桜実保乃佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

超えたい人

【Nコード】

N0567N

【作者名】

桜実保乃佳

【あらすじ】

快斗&新一の初めて会う話

新一と快斗は幼少期に会っていた…

ある日

公園

工藤新一という少年は誰も居ない公園で1人遊んでいた

「キィ」

誰も居ない公園でブランコをこぐ

そのとき

「俺にブランコかしてくれよ!!」

ともう1人少年が現れた

「いいぜ!!」

新一は はい とブランコを貸した

「サンキュー!!」

少年はブランコに乗った

そしてしばらくしたとき

「なあ、俺、黒羽快斗っていうんだ!!

オメーは?」

少年は聞く

「俺は工藤新一!!」

快斗ヨロシクな!!」

2人は握手をした

2人は滑り台に乗った

「なあ、新一。

オメー超えたい奴っているか？

俺は…

いるぜ！！！」

「俺もいる！！」

俺の父親を超える名探偵になる！！」

自信満々にいう新一

「俺は黒羽盗一っていう親父＝マジシャンを超えるマジシャンになる！！」

絶対にな！！」

新一と快斗はニカつと白い歯を見せ合って笑った

「約束しようぜ！！」

今度、超えたい奴より超えれたら

この場所で会おうぜ！！」

快斗は言った

「いいぜ！！」

勿論、新一も笑っていった
そのとき

「新ちゃん！！
帰るわよ！！」

「快斗〜！
帰るわよ！！」

それぞれの母親が迎えに来て
新一と快斗は帰って行った

約束を実現するため
次のステップに進むため
また再び会うために…

(後書き)

読んでくれて有難うございました！
感想・駄目だし・評価等待着つてます！

平成22年8/7 Happy & Lucky

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0567n/>

超えたい人

2010年10月16日00時22分発行